

## 労働者代表選挙について改めて考えよう！③

### 労働者代表選挙は職場の労働環境を守るために非常に重要！！

今まで労働者代表選挙の意味や労働者代表の役割、安全衛生委員会の役割などについて説明しました。

#### これまでのまとめ！

- ・労働者代表選挙は、36協定の締結権者や安全衛生委員会の労働側の委員を選出する役割がある。
- ・36協定は、労働者に対し法定労働時間（1日8時間、週40時間）を超える時間外労働や休日出勤をさせる場合に労基署に届け出ることが義務付けられており、正社員だけでなく、パート・アルバイト社員も含め、全労働者に適用される。
- ・安全衛生委員会では、労働災害の原因究明や再発防止策などの議論をするほか、事業場の環境整備・職場改善・時間外労働縮減など、労働者の危険や健康障害を防ぐための基本対策についての調査や審議を行う。
- ・労働者代表は、事業場の労働者の代表として、36協定などの各種協定の締結や、会社に対し就業規則制定・改定に際して意見を述べ、事業場における労働者の意思を反映する役割があり、その内訳は多岐にわたる。

⇒労働者代表選挙で選出された労働者代表は、労働者側の意思を労働環境に反映させる義務があり、事業場の全労働者の労働環境を左右する非常に重要な役割を担うとともに、労働者代表を選出する「労働者代表選挙」も非常に重要な意味がある！

**職場の皆さん！**ただ単純に「選挙があるから投票する」のではなく、誰が職場環境を守るのにふさわしいかを考えて投票しましょう！労働者代表選挙は人気投票ではありません。職場環境を守ることは皆さんの1票から始まります。白票や棄権ではなく、職場環境や労働者の安全・命を守る人に投票しましょう！

**労働者代表選挙は、職場の労働環境を守るために非常に重要！  
これ以上の労働環境悪化を許さず、苦しむ労働者を増やさないために  
法律に則ったチェックと正しい意見が言える仲間を送りだそう！！**

